

(株)峰岸商会

(本 社)甲府市増坪74 055-241-3151

(営業所)上野原市新田661 0554-62-3321

常日頃、私達峰岸商会を御利用頂き有難うございます。

4月の増税により、製造業に多少の影響が有るようになっていますが、この先の動きに期待を持って行きたいと思っております。また、峰岸商会社員一同、お客様のお役に立てる様日々行動してまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

さて、今回は、S45C非調質材についてお知らせさせていただきます。(村松・山田)

＜編集者＞

塚原 佳由  
望月 博隆  
村松 貴  
赤木 健三  
山田 幸平

## 鋼種 Q & A

## ～ 非調質材について ～



### ●調質材と非調質材の違い

**調質材**とは、通常のS45C材を焼き入れ焼戻しして硬度を入れて調質し、より硬くした材料の事です。

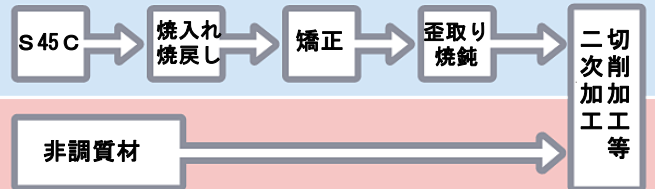
(調質させる硬度は、一般的にはHRCで20～25前後)

**非調質材**とは、調質(焼き入れ焼戻し)しなくても調質材と同等の硬度(HRC20～25前後)を持つ鋼材と言う事で非調質材と呼びます。

⇒機械構造用炭素鋼(SC鋼)に特殊元素(Vバナジウム、Nbニオブ、Tiチタン等)を添加し、マイクロアロイング(重量比で数ppm～0.1%程度といった、ごく微量の添加で効果を有する元素を含ませます。鍛造または圧延時の熱をそのまま利用して、放冷または簡単な冷却コントロールだけで、鋼中に微細な炭窒化物を析出させて、鋼を硬化し、その後の焼き入れ焼戻し(調質)を不要とした調質省略鋼の事です。

### ●特 徴

- ①従来の焼き入れ・焼戻しを省略する為、時間とコストが削減出来ます。
  - ②衝撃値は基本鋼の調質材より若干低下しますが、強度・疲労強度は基本鋼の調質材と同等以上です。
  - ③耐摩耗性は基本鋼の調質材より優れています。
  - ④被削性・高周波焼き入れ性は基本鋼の調質材より優れています。
  - ⑤特徴である回転冷却床により、鋼材の残留応力が少ない。
- そのため被削性加工時、曲がりの発生が少なく真直性が優れています。



### ●用途の例として・・・

建機用ピン材 油圧シリンダー用ピストンロット及びピストン、ナット 減速機用シャフト 印刷機用シャフトなど・・・

### ●メーカーによって呼び名も違います。(太文字⇒当社取り扱い材です。)

合同：GNH55 大同：MM45 住友：MAICA (通称マイカ) JFE：NH45MV 愛知：SVDなど・・・

※ 大同材のHMM-45M (通称スリーエム) は被削性に優れたMM45の快削材になります。

## ★ 社長のワンポイント ★

日々大変お世話になっております。今年もあっという間に半年が過ぎ、日本経済の浮き沈みが不安定気味になっております。昨年の5月22日に株価が下がり、丁度一年経ち大荒れの状況下。消費税が8%になったと同時に、市場も物価指数が上昇し実質値上げという形になりました。先月お伝えしましたが化石燃料の高騰が今も続いており、異常と言えば異常ですが、電力各社が置かれている状況を見ると火力=石炭→高騰になる図式です。現在、特殊鋼メーカー各社が素材に関して自動車各社に値上げ陳情行脚に出ており、7月実施で調整中であるということ、多くの情報を得ております。今回の特殊鋼業界の値上げは、電力・資材等の高騰によるものが主であります。全ての鋼種です。(ハイス・一般ハガネ材です。)上昇率は7%→15%のアップです。今までの経緯からすると今回のアップはメーカーの内部改善と言うよりも世の中の動きという外圧的な要素が大きいと感じております。各社一層の努力が要となってくる製造業です。

さて、先月お伝えしましたがメーカーとの一致団結してのプロジェクトですが、メーカーも必死に次の商品戦略を考えている姿垣間見られました。そのメーカーのO社長さまのコメントをききますと次の戦略商品ということをおっしゃっておられました。社内も重要ですが協力会社があって今まで繁栄しております。今までもこれからも・・・有り難い言葉でした。最近そんなことを真剣に考え行動されているメーカー様あまり居なかったような・・・。当社も決意高らかに実践です。

## 県内の動向

★**国中エリア**★4月からの消費税UPに伴い多少動きが鈍くなって来たと感じます。半導体も6月には組立のラインが調整に入りスローペースになりますが、その分7月からは非常に忙しくなるとの情報も関係者から聞いてます。行政の方も他県からの集地活動を進めているようですが、もう少し時間的が掛かるようです。県内の税収もモノ作りの企業が30%以上納めている事を考えて行政もしっかりとした動きをしてもらいたいものです。

★**郡内エリア**★大型連休も終わり、本格始動となる予定でしたが4月と比べると緊迫した状況になっております。仕事量がある所もありますが、件数で言えばとても少ないです。郡内エリアで大手各社のほとんどが減産と聞いております。また、県外から仕事を頂いている所でも仕事量が少ないそうです。6月から動くとか、7月からとか、情報に誤差がありますが6月は耐えるといった感じですが。

★**上野原エリア**★消費税増税や5月連休など、製造業には厳しい4～5月だったと思います。しかし後半になり仕事量が戻りつつあるとのお話を多く聞いております。以前として、半導体関係や車関係の仕事が動いている様子です。東エリア(東京)では、仕事が少なくなってきているとの話も聞いていますので、今後も情報収集をしっかり行い動向に注意していきたいと思っております。

